



Medical Management Specialist

MMS ニュース

2016

7
月号

●発行/一般社団法人
日本医療経営実践協会
(JMMPA)
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町
4-14
神田平成ビル7F

●編集/日本医療企画
●毎月1回発行(通巻65号)

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

第5回名古屋大会 大会プログラム

※6月10日現在。プログラムは諸般の事情により変更になる可能性があります

1日目 10月29日(土) 13:00開会

講演内容(敬称略)	
開会あいさつ 13:00~13:20	主催者あいさつ 吉原健二 一般社団法人日本医療経営実践協会代表理事 大会運営委員長あいさつ 井手 宏 日本医療経営実践協会東海支部支部長、一般社団法人愛知県医療法人協会会長、医療法人財団愛泉会愛知国際病院理事長
基調講演 13:20~14:20 (質疑応答含む)	地域イノベーションとは何か —医療提供体制の再構築から考察する地域医療の未来像 西村訓弘 三重大学副学長、地域戦略センター長、大学院医学系研究科生命医科学専攻教授
特別講演 14:25~15:25 (質疑応答含む)	新たな医療経営が描く日本の未来展望 —医療機関が行うべき挑戦と創造とは! 米盛公治 社会医療法人緑泉会理事長
審査委員長 メッセージ 15:35~15:40	発表にあたり 川淵孝一 東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事
15:40~15:45	審査委員紹介
研究発表会 15:45~18:00	セッション1 医療機関・医療従事者部門 医療経営士による演題発表 ディスカッション・質疑応答 座長 川淵孝一
18:00~18:25	スポンサー・セッション
懇親会 18:30~20:30	全国医療経営士 情報交換会

2日目 10月30日(日) 9:30開会

研究発表会 9:32~11:47	セッション2 医療機関・医療従事者部門 医療経営士による演題発表 ディスカッション・質疑応答 座長 川淵孝一
11:50~12:40	昼食・休憩
研究発表会 12:40~14:55	セッション3 医療機関外従事者部門 医療経営士による演題発表 ディスカッション・質疑応答 座長 川淵孝一
特別対談 15:05~16:00 (質疑応答含む)	地域医療の再生と構造的な問題 —コミュニティの創造を支える新しい在宅医療 山中光茂 川添高志 元三重県松坂市長、医療法人SIRIUS X ケアプロ株式会社代表取締役社長 いしが在宅ケアクリニック医師 看護師・保健師 モデレーター 米本倉基 藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科医療経営学教授
講評・表彰式 16:05~16:40	第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会を終えて 川淵孝一
閉会あいさつ 16:40~16:50	次回広島大会開催に向けて 梶原四郎 日本医療経営実践協会中国支部支部長、医療法人清風会理事長

大会プログラム決定

第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会

全国の医療経営士が一堂に会し 地域医療の将来ビジョンを考える場にしよう

10月29日(土)・30日(日)の両日に愛知県名古屋市で開催される第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会の大会プログラムが決定した。地域イノベーションとは何か?、そして、医療経営の将来像とはどのようなものなのか? 魅力あふれる演者が揃った講演概要を中心に、大会プログラムの内容を紹介する。

基調講演に三重大学副学長の西村氏 地域イノベーションの重要性を説く!

大会1日目は、吉原健二代表理事と井手宏大会運営委員長によるあいさつのおと、三重大学副学長の西村訓弘氏による基調講演で幕が上がる。西村氏は同大学で産官学連携を推進

する地域振興プロデューサーとして、主に医薬食分野における新規事業の立ち上げ支援に取り組んできた。今大会の大会テーマでもある地域イノベーションとは何か、そして医療

機関は地域の発展にどのようにかわっていくべきか? 医療経営士にとって自身の新たな役割を認識すると同時に、学ぶべきところが多い講演になるはずだ。続く特別講演では、社会医療法人緑泉会理事長の米盛公治氏が登壇し、「新たな医療経営が描く日本の未来展望をテーマにご講演いただき。米盛氏が院長を務める米盛病院は、2014年9月の新築移転をきっかけに、病院機能を再編。民間医療用(愛称「レッドウイング」)やハイブリッ

ドERの導入により救急医療体制を強化し、地域医療を守る数々の取り組みを実践してきた。米盛氏が語る地域の将来に向けたビジョンは、今後の病院経営を考えるうえで重要なヒントになるだろう(2面に続く)。

壇し、「新たな医療経営が描く日本の未来展望をテーマにご講演いただき。米盛氏が院長を務める米盛病院は、2014年9月の新築移転をきっかけに、病院機能を再編。民間医療用(愛称「レッドウイング」)やハイブリッ

ドERの導入により救急医療体制を強化し、地域医療を守る数々の取り組みを実践してきた。米盛氏が語る地域の将来に向けたビジョンは、今後の病院経営を考えるうえで重要なヒントになるだろう(2面に続く)。

第5回 全国医療経営士実践研究大会 名古屋大会 参加エントリー、演題発表登録 受付中!!

プログラム
決定!

医療経営士が生み出す地域イノベーション — 新たな医療経営が描く日本の未来像

2016年

10月29日(土) 10月30日(日)

演題・論文発表者募集中!

医療経営士としての実践活動・研究成果をPRする場です。我こそはと思う医療経営士の挑戦をお待ちしております。

●会場
ウインクあいち
(愛知県産業労働センター)
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
※JR名古屋駅徒歩5分

事前参加登録受付中!

今なら事前参加登録料金です。(9月30日まで)
会員および会員申請中15,000円(20,000円)
※2日間参加の場合※()は通常料金

●大会運営委員長
井手 宏
日本医療経営実践協会東海支部支部長
一般社団法人愛知県医療法人協会会長
医療法人財団愛泉会愛知国際病院理事長

インベーター2人による特別対談 地域医療の構造的問題、新しい在宅医療とは？

大会1日目の中盤は、いよいよ医療経営士による演題発表だ。演題発表は昨年の金沢大会に続き、3つのセッションに分かれ、発表後は審査委員長を務める東京医科歯科大学大学院教授の川渕孝一氏が座長となり、発表者によるディスカッション、質疑応答が行われる。また、今大会から各セッションの発表者はその所属先によって「医療機関・医療従事者部門」と「医療機関外従事者部門」に振り分けられる予定だ。大会1日目は、川渕氏によるメッセージ「発表にあたり」のあと、セッションを実施する。

演題発表のあとは「スポンサー・セッション」を挟み、懇親会が開催される。金沢大会の懇親会では、ジャズバンドによる生演奏が会場を盛り上げた。今大会でもサンプライズイベントに期待したい。

大会2日目も盛りだくさんの内容で贈る。演題発表のセッション2、3のあと、藤田保健衛生大学教授の米本

倉基氏をモデレーターに迎え、元三重県松阪市長の山中光茂氏とケアプロ株式会社代表取締役の川添高志氏による特別対談「地域医療の再生と構造的問題」が行われる。松阪市の青年市長として脚光を浴び、現在は在宅医として活躍する山中氏と、セルフ健康チェックおよび訪問看護事業を展開する川添氏。2人のインベーターが考える新しい在宅医療とはどのようなものなのか、示唆に富んだ発言に期待したい。

特別対談のあとは、川渕氏による演題発表の講評、受賞者の表彰式が行われ、次回広島大会の運営委員長を務める中国支部支部長の梶原四郎氏による閉会のあいさつで、2日間の大会は幕を閉じる。

現在、協会ホームページにて、演題発表と参加登録の申し込みを受け付け中だ。参加者一人ひとりが、明日の医療経営、地域の将来像を考える場として、多くの医療経営士に足を運んでいただきたい。

「病院経営・地域連携に活かす、国家戦略 『糖尿病性腎症重症化予防プログラム』 対応サポーターゼミ」参加者募集！

医療経営士に新たな活躍の場 病院経営を左右する新潮流へ、参画のチャンス到来！！

年間500万円かかり、20年以上にもわたる患者がいる人工透析治療。当該医療費の増加に国も本腰を上げて透析導入を阻止するため重症化予防に乗り出した。国家戦略として「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、行政・保険者と医療機関が一体となって取り組むことが求められるが、これにより医療機関の外来医療・地域連携のあり方が大きく様変わりする可能性が生まれてきた。本研究会では、戦略の制定経緯、本件に係る診療報酬の取り方とその採算性、行政・保険者連携に役立つツールや、取り組み際の具体的なノウハウを解説する。開催を前に講師の松本洋氏（一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会理事）にその概要をうかがった。

安倍政権が最優先課題として採り上げた 糖尿病性腎症患者の透析導入阻止

2013年、安倍政権が定めた「日本再興戦略」において、「糖尿病性腎症患者の人工透析導入を予防する重症化予防事業」が最優先課題として採り上げられました。また、全国の国民健康保険、組合健保、協会けんぽ等が、医療機関のレセプトデータベースに基づき健康保持・増進のための事業計画を行うことと（「データヘルス計画」）も書き込まれています。

これら骨太政策に基づき、レセプトデータと特定健診データをデータベース化した端末が全国市町村へ配備さ

た。これまで公衆衛生・未受診者対策等の1次予防を担当していた行政・保険者が、既に医療機関に受診している糖尿病患者の2次・3次予防に関与するという一大転換です。

国家戦略として求められる 行政・保険者から選ばれる病院へ

この政策に対応する「糖尿病透析予防（3次予防）」に特化した診療報酬上の加算も2012年改定時に設定され、今改定でより拡大が図られています。さらに今春、日本医師会、糖尿病関連学会、厚生労働省の3者で協定が結ばれ、新たに国が定めた「糖尿病性腎症重症化予防プロ

グラム」を3者が協力・連携し推進することになりました。本プログラムは、日本糖尿病学会や日本腎臓学会の標準治療に記載のない内容も多く、学会の枠組みを超えたアウトカム目標を設定しています。また、医療者と保険者との患者の検査データ等を共有することを求め、病院の糖尿病性

腎症患者のなかで生活習慣改善が困難な患者等を保険者に在宅指導させ、病院医療者と保険者（具体的には保健師）との合同カンファレンスも規定。従来の病院の外来ワークフローに大きく変更を迫るものとなっています。

既に、市町村の国保保健師と組んで地域の新規透析患者数削減に成功した地域病院が複数あります。一部組合健保では、透析導入時期が迫っている糖尿病性腎症の被保険者に対し、透析導入阻止・導入時期遅延の実績がある病院への転院を案内し始めました。また、日本最大の保険者である協会けんぽが、今年

度全国7か所で病院と提携し、糖尿病性腎症の透析予防のパイロット事業を始めています。これは将来、行政・保険者と連携する、行政・保険者から選ばれる（生活習慣病）外来を持つ病院の誕生を意味します。

本研究会では、なぜ糖尿病性腎症の透析予防が骨太政策において唯一の個別疾患として採り上げられたのか、なぜ医療者と行政・保険者との連携が求められるのか等、その経緯を解説することも、既に動き出している地域行政（国保）・病院連携の先駆事例とそのアウトカムを紹介します。これらの政策は、皆

様の病院においても患者データベースの整備、大病院では考えられない多職種ワークフローの展開、地域の保健師との協働連携等を求めている、病院と地域全体を睨んだ、かつ従来の専門性の枠を超えた概念が必要とされるのは医療経営士の独壇場となると思われます。

【開催概要】
●日 時：2016年7月10日（日）14:00～15:30
●場 所：日本医療企画もみやセミナールーム（東京都千代田区神田東松町17 もみやビル3F）
●講 師：松本 洋氏（一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会理事）
●定 員：30名
●参加条件：原則、医療機関にお務めの方
●参加費：【協会会員】無料【非会員】1,000円
●主催：日本医療経営実践協会 関東支部

本研究会においては、本件に係る診療報酬の取り方とその採算性、行政・保険者連携に役立つツールや、本格的に皆様の病院で取り組まれる際のサポート手続を盛り込んでいます。奮ってご参加いただければと存じます。

支部NEWS

医療経営士が自主的に立ち上げた 東海支部公認の研究会在が発足！

2016年3月、医療経営士が自主的に立ち上げた東海支部公認の組織「静岡東部研究会」が発足した。実践的な経営能力を備えた人たちの情報交換の場とし、医療機関のみでなく地域医療に貢献する人材の養成を目的としたものだ。医療経営士をはじめ、医療経営に興味がある医療機関の職員や関連企業、金融機関勤務者を対象に、「顔の見える関係」からさらに一歩進んだ「気持ちのわかる関係」づくりを目指している。

5月14日、2回目となった研究会は「医療政策の将来像を読み解く」をテーマに開催し、71人が参加。発起人である岡村記念病院事務部長の田中賢司氏（医療経営士2級）は、「医療政策では病床機能分化と連携、アウトカム重視がうたわれており、事務職の取り組みが病院経営に影響する。医療を取り巻く諸問題を、医療にかかわるすべてのの方と考える必要がある」と呼びかけた（詳細は日本医療企画『月刊医療経営士』7月号に掲載予定）。

今後、こうした医療経営士による自主的な取り組みが全国各地に拡大していくことを期待したい。



参加者から次々に質問が上がるなど盛況だった研究会。終了後は懇親会が開かれた。

今後の支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
6月25日(土)	関西	イノベーションを起こせる人材になるための石井ゼミ ～「保健医療2035」を読み解く～(第3回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	九州	医療広報塾(第3回)	水内純清氏(元・読売新聞社会部、整理部記者、元・社会医療法人天神会・古賀病院グループ広報部長)
7月9日(土)	北海道	北海道支部定例研究会「2016年度診療報酬改定の影響」	関谷公栄子氏(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院経営管理部次長)
	関東 (主催:日本医療企画)	第4期「経営人材育成 中村塾」(第3回)	中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事/日本医療経営実践協会参与)
	東海	イノベーションを起こせる人材になるための石井ゼミ ～「保健医療2035」を読み解く～(第3回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	東海	第3回静岡県東部医療経営研究会「病院と診療所の連携について」	小林恵美子氏(静岡市立静岡病院医事課、医療経営士3級)/富田聡氏(沼津市立病院医事課)
10日(日)	関東	「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」対応サポートゼミ	松本洋氏(一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会理事)
23日(土)	関東	「医療経営士1級」試験合格者中村先生が教える！ 病院経営に必要な財務・会計から税務・節税対策まで！ 第1回(全4回予定)	中村祐介氏(TOMA税理士法人ヘルスケア事業部チーフ・コンサルタント、医療経営士1級合格者)
	関西	イノベーションを起こせる人材になるための石井ゼミ ～「保健医療2035」を読み解く～(第4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
	九州	医療広報塾(第4回)	水内純清氏(元・読売新聞社会部、整理部記者、元・社会医療法人天神会・古賀病院グループ広報部長)
30日(土)	関東	実務のレベルアップを図る石井ゼミ 「経営分析に必要なデータの収集から分析まで(Excel活用術)」	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
8月6日(土)	関東	わかりやすくすぐ使える！ BCPの実効性を高める実践講座	浅野睦氏(株式会社フォーサイトコンサルティング代表)
	関東 (主催:日本医療企画)	第4期「経営人材育成 中村塾」(第4回)	中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事/日本医療経営実践協会参与)
	東海	イノベーションを起こせる人材になるための石井ゼミ ～「保健医療2035」を読み解く～(第5回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
27日(土)	関東	実務のレベルアップを図る石井ゼミ 「相手に伝わるプレゼンテーションの極意(PowerPointの使い方)」	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
9月10日(土)	関東 (主催:日本医療企画)	第4期「経営人材育成 中村塾」(第5回)	中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事/日本医療経営実践協会参与)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページをご確認ください

医療経営士実践テキストシリーズ①

なるほど、なっとく 医療経営 Q&A50

3訂版

医療経営の手引書として、「医療経営士」資格認定試験の受験対策書として、必ず役立つ1冊です。医療機関の種別、診療報酬・介護報酬のしくみから社会保障改革の動向まで、医療経営のオモテとウラをパーフェクト解説。

主な特徴

- 平成28年度診療報酬改定に完全対応!
- 最新トピックス満載!
- 地域医療構想、地域医療連携推進法人、保健医療2035、患者申出療養制度、医療事故調査制度、医療法人会計基準、医療法人の分割、特定機能病院の要件見直し、ほか

- 発行：日本医療企画
- 著者：長英一郎(東日本税理士法人)
- 体裁：A5版/並製本/300頁
- 定価(税込)：3,240円→**会員価格(税込)：2,592円**

